

第12回総会議案書

【開催日時】 2023年10月12日（木）14時30分～

【開催場所】 大阪府大阪市「新大阪ワシントンホテルプラザ」

【議 題】

1. 報告事項

- (1)2023年度活動経過報告
- (2)2023年度決算・監査報告

2. 審議事項

- 第1号議案 規約改訂（案）
- 第2号議案 2024年度活動計画（案）
- 第3号議案 2024年度予算（案）
- 第4号議案 2024・25年度役員選出（案）

＜参考資料＞ 県本部退職者組織実態調査（2022年実施）

基幹労連シニアクラブ

E-MAIL Jbu-shinia@kikan-roren.or.jp

HP <https://www.kikan-roren.or.jp/senior/>

2023年度活動経過報告

新型コロナウイルス感染症がようやく落ち着きをみせ、5月には感染症法上の分類が2類からインフルエンザ同様の5類に移行し、社会はウイズコロナへと舵を切りました。

基幹労連退職者の会としては、組織運営を通常に戻しながら諸課題に対応した1年であったと考えます。中心的な組織テーマは結成10周年を迎えることも含め、組織の充実に向けた転機であるとの受け止めに立って、組織の正式名称を「基幹労連シニアクラブ」に変更する議論をお願いしてきましたが、久々に対面開催した地方ブロック懇談会において概ねの課題認識の共有化がはかれたことが確認できたと受け止めております。

年度終盤は、まだまだ高齢者がコロナ感染したときのリスクが解消されておらず、状況を見据えた慎重な組織運営が必要との認識に立ったうえで、今後の活動を充実させていくための議論を積み重ねてきました。以下にその経過を報告します。

1. 基幹労連および各県本部退職者組織との連携

- (1) 三役会は毎月開催し、退職者連合への対応、組織実態調査の集約、結成10周年行事の検討等を行った。
- (2) 幹事会は、10月総会後に持ち回りで総会書面決議集約結果確認を行い、2月は村田議員との意見交流、8月は総会議案の審議を対面開催することができた。9月には総会議案最終確認を持ち回り開催により実施した。
- (3) 2年ぶりに調査内容を再整理し、組織実態調査を実施した。
- (4) 地方ブロック懇談会は8ブロック全てにおいて対面開催で実施し、組織名称変更の認識確認と組織実態調査の結果をもとにした組織充実方向について意見交換を行った。
- (5) コロナ禍におけるシニアクラブ活動の遂行において、政策実現の取り組みを含め密度濃く業務を進めていった、産別本部シニアクラブ担当と県本部事務局の尽力が大きく寄与していることを特筆しておく。
- (6) シニアクラブニュースは、三役会・幹事会の内容報告、地方ブロック懇談会の概要等を取り上げ課題認識の共有化をはかった。
- (7) 基幹労連ホームページ「退職者の会（シニアクラブ）」コーナーにおいて、適宜活動等の情報を発信してきた。

2. 日本退職者連合(略称：退職者連合)への対応

退職者連合も、諸会議を対面開催に戻しつつ、年度・春の政策・制度要求立案、中央・地方における要請行動等の継続実施に努めた。

- (1) 退職者連合三役会・幹事会へは、常任幹事に就いている操谷事務局長が対応し、政策委員会と組織委員会にも委員として操谷事務局長が参画した。また、全国組織代表者会議には兼子会長が出席した。
- (2) 院内集会、各種学習会は予定通り全て実施され、基幹シニアとしても適宜参加した。
- (3) 3年ぶりに組織実態調査が実施された。組織人員は、会員の高齢化、定年延長による対象者の減等により約7万人減の約70万人となった。
- (4) 連合中央メーデーは、3年ぶりに規模を元に復しWEBも併用活用して開催され、基幹シニアからは10名が参加した。

- (5) 退職者連合第27回定期総会は、3年ぶりに正規代議員数に戻し7月19日（水）に開催された。基幹シニアとしては、代議員5名が出席した。

3. 諸会議の開催

2023年度の総会を初めとする諸会議の開催と主な議題は以下の通り。

(1) 第11回総会

3年続けての書面決議方式により実施。

- ① 日時：2022年10月3日(月)議案送付 10月18日(火) 審議結果集約
- ② 議題 ○活動経過報告、決算・監査報告
○第1号議案 2023年度活動計画
○第2号議案 2023年度予算
- ③ 県本部退職者の会代表37名と中央退職者の会代表の38名による書面審議を行う。

(2) 第1回三役会

- ① 日時：2022年10月19日(金)～持ち回り開催～
- ② 議題 ○第11回総会（書面審議）の終了確認

【書面決議集約結果】

2022年度一般経過報告	承認 38	不承認 0
2022年度会計決算報告・監査報告	承認 38	不承認 0
第1号議案2023年度活動計画（案）	賛成 38	反対 0
第2号議案2023年度予算（案）	賛成 38	反対 0

※意見・要望とコメント（組織名改称について）

（意見要旨）県本部の構成組織に既にある組織の組織名改称も視野に入れているのか？

（本部見解）シニアクラブ本部と各県本部退職者の会の正式名称改称を目指しており、各県既存退職者の会の改称検討をお願いしているものではありませんが、お示ししている会員拡大における課題認識の解消に意義を見出して頂けるのであれば、前向きに検討頂きたいと考えています。

○第1回幹事会の内容確認

○シニアクラブ・ニュース第65号の発行

(3) 第1回幹事会

- ① 日時：2022年10月19日（水）～持ち回り開催～
- ② 書面審議集約結果
- ③ 総会の終了確認

(4) 第2回三役会

- ① 日時：2022年11月18日(金)15時30分～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○県本部退職者の会総会出席対応確認
○組織実態調査の実施内容・方法確認
○シニアクラブニュース第66号発行について

(5) 第3回三役会

- ① 日時：2022年12月15日（木）16時～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○兵庫県本部退職者の会第16回定期総会出席報告
○シニアクラブニュース第66号内容確認

(6) 第4回三役（連絡）会

- ① 日時：2023年1月20日（金）15時30分～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○退職者連合「2.16院内集会」への対応
○シニアクラブ組織実態調査の集約状況確認
○退連組織実態調査への対応について
○第2回幹事会の内容検討
○役員推薦委員会の委員長選任と持ち方について
○設立10周年記念取り組みの在り方について（フリー議論）

(7) 第5回三役会

- ① 日時：2023年2月22日（水）15時～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○第2回幹事会議題について
○地方ブロック懇談会の持ち方と対応者の確認
○トルコ・シリア地震への支援取り組みについて

(8) 第2回幹事会

- ① 日時：2023年2月22日（水）16時～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○集約した組織実態調査の概要報告
○地方ブロック懇談会の実施概要
○トルコ・シリア地震支援カンパ対応について
※村田享子参議院議員との懇談実施

(9) 第6回三役会

- ① 日時：2023年3月17日（金）15時30分～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○地方ブロック懇談会の持ち方と対応者の確認（その2）
○第94回メーデー中央大会への対応
○大阪府本部退職者の会総会への対応

(10) 第7回三役（連絡）会

- ① 日時：2023年4月21日（金）15時30分～
- ② 場所：基幹労連

- ③ 議題 ○地方ブロック懇談会の一次報告
○第94回メーデー中央大会への対応
○次期活動計画のポイントについて（フリー議論）
○10周年の取り組み（フリー議論）

(11) 第8回三役（連絡）会

- ① 日時：2023年5月24日（水）15時30分～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○実施済地方ブロック懇談会の報告と意見交換
○退職者連合第27回定期総会代議員の選出について
○全国高齢者集会对応について
○JAMシニアクラブとの懇談会について

(12) 第9回三役（連絡）会

- ① 日時：2023年6月22日（木）15時30分～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○実施済地方ブロック懇談会の報告と意見交換
○退職者連合第27回定期総会対処と代議員の選出について
○全国高齢者集会動員行動費の取り扱いについて
○第12回総会・10周年行事の持ち方について（その1）

(13) 第10回三役会

- ① 日時：2023年7月21日（金）15時30分～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○第12回総会議案審議（別紙参照）
○第3回幹事会の議題・進め方について
○第12回総会・10周年行事の持ち方について（その2）
○2023年全国高齢者集会对応について

(14) 第11回三役会

- ① 日時：2023年8月9日（水）15時～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○第3回幹事会議案について
○第12回総会開催準備について
○JAM総会への出席について

(15) 第3回幹事会

- ① 日時：2023年8月9日（水）16時～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○地方ブロック懇談会経過報告
○第12回総会の開催と上程議題の審議について

○10周年記念の取り組みについて
○2023年全国高齢者集会对応について

(16) 第12回三役会

- ① 日時：2023年9月15日(金) 15時～
- ② 場所：基幹労連
- ③ 議題 ○第4回幹事会議案について
○2024年度年間日程(案)について

(17) 第4回幹事会

- ① 日時：2023年9月15日(金) ～持ち回り開催～
- ② 議題 ○第12回総会議題の最終確認について
○2024年度年間日程(案)について

(18) 役員推薦委員会

澤田副会長を推薦委員会委員長に選任し、吉岡副会長、和田口副会長、綱島参与を委員、操谷事務局長を事務局として推薦作業を行い、兼子会長への答申を行った。(推薦経過は内容非公開)

【開催日程】

- 第1回 2023年4月21日(金)
- 第2回 2023年5月24日(水)
- 第3回 2023年9月13日(水)持ち回り

4. 地方ブロック懇談会

4月から6月にかけて各県本部退職者の会の代表に参集いただき、地方ブロック懇談会を開催し、活動状況の共有、シニアクラブへの組織名称変更への受け止め、組織強化・拡大への対応状況、村田参議院議員支援を含めた今後の活動等について意見交流を行った。

ブロック	日程	開催場所	本部派遣者(産別)	出席者
北海道・東北	6月3日(土)	札幌 ホテルアベスト	兼子(綱島)	19名
関東	5月29日(月)	基幹労連本部	和田口、操谷(篠原)	16名
北信越	5月18日(木)	メトロポリタン長野	操谷(津村)	10名
東海	4月17日(月)	愛知 アビタン	澤田(篠原)	10名
近畿	5月12日(金)	大阪キャッスルホテル	兼子(綱島)	13名
中国	4月17日(月)	ワークピア広島	操谷(綱島)	9名
四国	5月29日(月)	香川 杉原初瀬戸大橋	兼子、越野(綱島)	12名
九州	5月12日(金)	佐賀 武雄市文化会館	和田口(生坂)	14名

【県本部退職者の会の組織構成現状】

各県本部退職者の会からの報告を集約した組織構成状況の概要は以下の通り。

○県本部役員OBを主体に構成(11組織)

北海道(含む単組役員OB・組織内議員) 岩手 宮城 栃木 埼玉 千葉 長野 岡山 福岡(県本OB+単組三役OB) 静岡(2組織) 滋賀

○構成組織役員 OB で構成（7 組織）

青森（3 組織） 茨城（日鉄 G 役員 OB で構成、含む組織内議員） 三重（5 組織）
京都 大阪 和歌山（日鉄 G 役員 OB で構成） 山口

○構成組織 OB 会で構成（19 組織）

秋田（2 組織） 山形（1 組織） 福島（1 組織） 群馬（1 組織） 東京（県本 OB
+ 4 組織） 神奈川（10 組織） 新潟（2 組織） 富山（1 組織） 岐阜（2 組織）
愛知（4 組織） 兵庫 広島（6 組織） 香川（1 組織） 愛媛（4 組織） 佐賀（1
組織） 長崎（3 組織） 熊本（1 組織） 大分（1 組織） 鹿児島（2 組織）

※下線組織は県退職者連合に加盟

【地方ブロック懇談会における意見交流の概要】

○活動状況について

・コロナ禍、総じて活動は停滞していたが、5 類への変更を受け従前に戻す過程にある。

○組織拡大について

・県本部退職者の会の形態は、県本部役員 OB を主体に構成しているケース、単組の OB 会をそのまま県本部退職者の会に充てているケース、いくつかの単組 OB 会の連絡会を県本部退職者の会としているケースに概ね分類できるが、定年延長や再雇用制度により退職者が大きく減じている実態の中、新たに会員を迎え入れることが難しくなっており、退任される県本部役員も年齢にもよるが職場復帰後の加入要請が容易ではなく、会員が減少する実態がある。

〔本部コメント〕 そうした実態を踏まえて、組合役員退任時に会員招請のアクションが採れるよう組織名称の「シニアクラブ」への変更を提起しており、我々の活動の核となってもらえる組合活動経験者の参画を促し易い状況をつくっていく「きっかけ」になればと考えています。

○シニアクラブへの改称について

・和歌山県においては既にシニアクラブへの改称を総会で確認したとの報告いただいております。改称の狙いや趣旨について賛同する意見が多く出され、会員対象年齢拡大に向けた入会基準の検討等必要な検討を行なった上でそれぞれの総会において改称していく旨のご意見をいただいた。

・改称すれば会員が増えるという単純な状況ではない。県本部構成組合の組合役員 OB に会員に加わってもらうことや、組合 OB 会未組織への対応等は現役との認識共有・協働がなければ難しい。

〔本部コメント〕 組織力の強化・充実には、より多くの県本部構成組合役員 OB に賛同を得ることが必要と考えています。産別本部とも意思疎通を深め前進するよう取り組んでいきますので、各県においても現役の県本部役員や構成組織執行部との意見疎通をはかっていただくようお願いします。

○村田きょうこ議員支援の今後に向けて

・昨年実施した WEB を活用した「決起集会」は好評であった。今後についても顔が見える機会を多く持って欲しい。総会に顔を出してもらえれば身近に感じる。

- ・産別のHPからファンクラブ会報に入れたい。もう少し工夫が必要ではないか。

【本部コメント】 次の選挙は現役議員としての対応となることから、議員自体の時間的制約は一層高まることとなります。ご意見にある SNS の活用は大きな課題だと受け止めています。シニアクラブ自体にその能力が不足していますので、産別と相談しながら対応していきます。

5. シニア・クラブニュース

【発行の基本的な考え方】

- ① 形式（スタイル）の確認
A4版ニュースレターをネットで配信
- ② 発行タイミングと内容
不定期とし、内容は、諸会議・会合の報告、各県本部退職者組織の動き、退職者連合の情報、基幹労連の活動支援など
- ③ 配布（配信）対象
各県本部退職者の会（県本部事務局経由）
基幹労連加盟組合
中央退職者の会メンバー（ネット登録者）

(1) 第65号の発行（2022年10月20日）

- ① シニアクラブ第11回総会（書面審議終了）報告
- ② 基幹労連第20回定期大会報告

(2) 第66号の発行（2023年1月1日）

- ① 新年号（挨拶：兼子会長、基幹労連神田委員長、退職者連合人見会長、村田きょうこ参議院議員）
- ② 兵庫県本部退職者の会第17回定期総会開催報告
- ③ 退職者連合「第207回通常国会に向けた政策・制度要求」ダイジェスト

(3) 第67号の発行（2023年3月6日）

- ① 第2回幹事会報告（村田議員を招き意見交換会実施）
- ② きょんきょん便りNo.2 「通常国会 頑張ってます！」
- ③ 第20回統一地方選挙基幹労連推薦候補者紹介

(4) 第68号の発行（2023年7月6日）

- ① 地方ブロック懇談会開催報告
- ② きょんきょん便りNo.3 「通常国会奮闘記」

(5) 第69号の発行（2023年8月17日）

- ① 第3回幹事会報告 第12回総会の開催を確認
- ② 退職者連合2023年「政策・制度要求」

(6) 第70号の発行（2022年9月15日）

- ① 第4回幹事会報告（総会上程議案最終確認）
- ② 第2号議案「2024年度活動計画（案）」全文掲載

5. 活動・行動の記録（2022年10月第11回総会～2023年10月第12回総会）

年	月	日	内容	担当者・参加者
2022	10	1	～18 第11回総会（書面決議）	
		19	退職者連合第2回三役会	操谷
		19	#1三役会	三役持ち回り審議
		19	#1幹事会（総会書面審議集約結果確認）	幹事持ち回り審議
		20	シニアクラブニュース第65号発行	
	11	16	退職者連合第3回三役会・第2回幹事会	操谷
		16	退職者連合社会保障学習会役	兼子、操谷
		18	#2三役会	三役
	12	5	兵庫県本部退職者の会#17総会	兼子
		14	退職者連合第1回組織委員会・第1回政策委員会・第4回三役会	操谷
		15	#3三役会	三役
2023	1	1	シニアクラブニュース第66号発行	
		5	基幹労連新年交歓会	兼子、操谷
		18	退職者連合第2回政策委員会・第5回三役会・第3回幹事会	操谷
		20	#4三役会	三役
	2	8	退連と立憲民主党の政策意見交換会	操谷
		15	退連第6回三役会・全国事務局長会議	操谷
		16	退職者連合2.16院内集会	兼子、兼子、和田口
		22	退職者連合第1回役員推薦委員会	操谷
		22	#5三役会	三役
		22	#2幹事会	幹事
	3	6	シニアクラブニュース第67号発行	
		8	退職者連合第2回役員推薦委員会	操谷
		8	退連「ジェンダー平等」学習会	兼子、操谷
		15	退連#3政策委、#7三役会、#4幹事会	操谷
		17	#6三役会	三役
		23	シニアクラブ中間会計監査	入口、森山、操谷
		26	北海道・東北ブロック懇談会（WEB）	吉岡、操谷（綱島）
	4	6	大阪府本部退職者の会総会	操谷
		17	中国ブロック懇談会	操谷（綱島）
		17	東海ブロック懇談会	澤田（篠原）
		19	退連#8三役会、#3組織委、#3役推委	操谷
		21	#7三役会、	三役、
		21	#1役員推薦委員会	役推委員
		27	中央退職者の会交流会（木更津開催）	三役・幹事有志

年	月	日	内容	担当者・参加者
2023	4	29	第94回中央メーデー	10名
	5	12	九州ブロック懇談会	和田口、(生坂)
		12	近畿ブロック懇談会	兼子、(綱島)
		17	退連#4委、#9三役会、#5幹事会 #4役推委、#1高齢者集会実行委	操谷
		18	北信越ブロック懇談会	操谷、(津村)
		24	#8三役会	三役
		24	#2役員推薦委員会	役推委員
		29	関東ブロック懇談会	和田口、操谷(綱島)
		29	四国ブロック懇談会	兼子、越野、(綱島)
	6	4	北海道・東北ブロック懇談会	兼子、(綱島)
		14	退連#5役推委、#10三役会、 #3組織委、#6幹事会	操谷
		22	#9三役会(JAMシニアとの交流懇親)	三役
	7	3	シニアクラブニュース第68号発行	
		3	退職者連合#6役員推薦委(持回り開催)	操谷
		18	退連#11三役会	操谷
		18	退職者連合全国組織代表者会議	兼子、操谷
		19	退職者連合第27回定期総会	兼子、越野、中里、渡辺 和田口、操谷
		21	#10三役会	三役
	8	9	#11三役会	三役
		9	#3幹事会	幹事
		17	シニアクラブニュース第69号発行	
		31	退連#1三役会、#1幹事会、#3高齢者 集会実行委、#7役推委、	操谷
	9	7	基幹労連第20回定期大会	兼子
		7	基幹労連結成20周年記念祝賀会	兼子、澤田、吉岡、操谷
		11	会計監査	入口、森山。操谷
		15	#12三役会	三役
		15	#4幹事会	幹事持回り
		15	シニアクラブニュース第70号発行	
		19	全国高齢者集会	31名
		20	退職者連合地方代表者会議	操谷
	10	12	第12回総会	

6. 各県本部退職者の会の活動概要

各県本部退職者の会の活動は、コロナ禍の自粛状態から、感染法上の扱いが5類となったことを受け、慎重さを保った中で従前活動へ戻す過程にあることが、地方ブロック懇談会の交流で確認されています。

3年超えの活動停滞状態にあったこと、この間の定年延長施策の進展により、新規会員が大きく減少し、会員の高齢化が進んだこと等々の構造的制約要因を直視し、シニアクラブへの名称変更の趣旨も踏まえて、各県それぞれの実情の中、活動・組織の在り様検討に着手した段階にあります。

(議案書末尾に参考資料として「県本部退職者組織実態調査(2022年)」を掲載)

2023年度決算・会計監査報告

2023年度決算 報告

2022年9月1日から2023年8月31日まで

(単位：円)

科目	決算	予算	執行率(%)
I 収入の部			
助成金	5,000,000	5,000,000	100.0
会費	0	0	0.0
雑収入	124	100	124.0
繰越金	9,567,870	9,567,970	100.0
収入の部合計	14,567,994	14,567,970	100.0
II 支出の部			
総会費	0	0	0.0
内部会議費	679,818	1,200,000	56.7
地方会議費	2,174,272	2,400,000	90.6
外部活動費	57,000	120,000	47.5
団体会費	340,000	340,000	100.0
地方組織活動費	45,660	450,000	10.1
組織対策費	26,607	300,000	8.9
予備費	0	9,757,970	0.0
支出の部合計	3,323,357	14,567,970	22.8
III 収支差額	11,244,637	0	

2023年度会計監査 報告

会計監査の結果、適正に処理されていることを報告します。

基幹労連シニアクラブ
会 長 兼子 昌一郎 殿

2023年9月11日

会計監査 入口 信茂 印

会計監査 森山 謙一 印

第 1 号議案 会則の改訂

会の名称を「基幹労連シニアクラブ」へ変更することとし、以下の会則改訂を行う。
 なお、各県本部退職者の会が順次実施する「〇〇県本部シニアクラブ」への改称を織り込んだ内容となっている。

【現 行】	【改 訂】
基幹労連退職者の会 会則	基幹労連 <u>シニアクラブ</u> 会則
<p>第1条（名称）</p> <p>この会は、日本基幹産業労働組合連合会退職者の会（略称：シニアクラブ）といい、事務所を日本基幹産業労働組合連合会（以下：基幹労連）中央本部内におく。</p>	<p>第1条（名称）</p> <p>この会は、<u>基幹労連シニアクラブ</u>（略称：<u>基幹シニア</u>）といい、事務所を日本基幹産業労働組合連合会（以下：基幹労連）中央本部内におく。</p>
<p>第3条（構成）</p> <p>この会の構成は、次のとおりとする。</p> <p>（1）基幹労連各県本部の退職者組織</p> <p>（2）基幹労連中央退職者の会</p> <p>（3）その他、役員会で加入を認めた組織または個人</p>	<p>第3条（構成）</p> <p>この会の構成は、次のとおりとする。</p> <p>（1）<u>基幹労連各県本部シニアクラブ</u></p> <p>（2）<u>基幹労連中央シニアクラブ</u></p> <p>（3）その他、役員会で加入を認めた組織または個人</p>
<p>第9条（施行）</p> <p>この会則は、2013年4月22日より施行する。</p> <p>2014年10月23日、一部改訂</p> <p>2015年11月24日、一部改訂</p> <p>2018年10月16日 一部読替</p>	<p>第9条（施行）</p> <p>この会則は、2013年4月22日より施行する。</p> <p>2014年10月23日、一部改訂</p> <p>2015年11月24日、一部改訂</p> <p>2018年10月16日 一部読替</p> <p><u>2023年10月12日 一部改訂</u></p>

第 2 号議案 2024 年度活動計画（案）

はじめに

我々の活動を大きく制約してきた新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）が、徐々に沈静化してきた経過を踏まえ、2023 年 5 月 8 日感染法上の位置付けが 2 類相当からインフルエンザ等と同様の 5 類に変更されました。社会全体はコロナと共存・共生していく With コロナのステージに歩を進めることとなりますが、高齢者が感染した場合のリスクは依然として軽視することは出来ず、気を緩めることはできないと考えておかなばなりません。

基幹労連シニアクラブ（以下基幹シニア）は、昨年総会で提起し各県本部退職者の会での議論・検討いただいた経過に立って組織名称の改訂を行い、活動を活性化させながら「より力を発揮できる組織」に向けて取り組んでいきます。役員と会員（会員同士も）が常日頃顔を合わせられない OB が集う組織という変えられない構造の中で、WEB・SNS も効果的に使いながらフェイス to フェイス活動を適切に組み合わせて、その実現を追求していくこととします。

そのためにこの 2 年は、三役会・幹事会において、必要な時に会員相互の意思疎通が図れる活動・組織の在り方を検討していきます。

加えて、基幹労連本部・各県本部と連携のもと、村田享子参議院議員を軸とする「基幹労連の政策・制度実現運動」にも適宜参画していくこととします。そして基幹労連が定期大会で推薦を決定した 2025 年参議院選挙 JAM 組織内候補予定者「郡山 りょう（こおりやまりょう）」氏支援についても実効ある取り組みを会員の皆さんと創り上げていきます。

結成後の 10 年は終盤コロナにより停滞を余儀なくされた感が否めませんが、次の充実した 10 年に向けて会員の理解と協力をお願いいたします。

1. 組織運営

中央組織においては、年 1 回の総会、年 2 回程度の幹事会、月 1 回程度の三役（連絡）会を中心に、各県本部シニアクラブとの交流・連携行事の実施も含めて組織力の強化・発揮をめざした運営を行っていく。

- 諸会議・諸行事（地方ブロック懇談会等）の配置・設定は従前通りを基本とする。
- 組織の充実強化に向けた検討は、三役会における課題・対応の論点整理をもとに、幹事会において課題認識の共有化・対応方向の論議を行い、地方ブロック懇談会も活用した幅広い意見交換を経て、具体対応を詰めていくこととする。なお、組織運営の在り方全般に関わるテーマであり、中央・地方における現役組織との意見交換も行った上で、2 年の役員任期をかけて必要な改革に繋げていくことを目指していく。
- 結成 10 周年・基幹労連シニアクラブへの改称を機に、本部・県本部組織の「旗」「幟」を製作し交付する。
旗・幟の表記は「基幹労連シニアクラブ」「基幹労連神奈川県本部シニアクラブ」（県本部例）とする。
- 三役会報告・幹事会報告を、県本部シニアクラブ事務局を通じて各代表に送付し認識共有化に資していく。

2. 各県本部シニアクラブの組織拡大・強化

力を発揮できる組織（共通の課題認識の下で、統一した活動、行動が実効できる組織を創り上げる）への充実をめざす。

2023 年地方ブロック懇談会において概ね共有化することができた次の内容を組織充実の目指すべき方向として、その実現に取り組む。

- 県本部構成組合ごとに組合役員 OB 会員が存在する状況を作り、県本部シニアクラブ活動を現役組合役員と共に支えて行ける活動を目指していく。
- その為に、昨年「第 11 回総会第 1 号議案付帯資料」において確認した内容を踏まえて、加入・構成対象の拡大につながるよう県本部シニアクラブ会則の改訂を検討し、県本部役員 OB、各県本部構成組合の役員 OB をできる限り県本部シニアクラブ会員に加えていく取り組みを行う。
- OB 会組織を持たない県本部構成組合役員 OB の入会を促すための連絡体制や OB 会作りを支援していくこととし、この取り組み方向を現役役員と共有するための機運醸成に努める。
- 組織充実に向けた現役役員との意思疎通については、基幹シニア本部も産別本部と協議を深めていく。
- 引き続き、「女性会員・女性役員の増」をテーマに置き、出来得る対策を検討して加入につなげる努力を行う。
- 以上を各県本部シニアクラブの実情に即した時間軸で進めていく。

(2022 年第 11 回総会第 1 号議案付帯資料を再掲)

3. 基幹労連中央シニアクラブとの連携

「基幹労連中央シニアクラブ」と引き続きしっかりと連携していく。

- 基幹労連中央シニアクラブは、関東圏における日本退職者連合行事・活動等に積極的な協力を得ている。
- 基幹シニアとして、引き続き基幹労連中央シニアクラブの総会及び交流行事等の実施を側面から支援していく。

4. 日本退職者連合への対応

日本退職者連合は、産別・関連退職者連合や地方連合退職者の会で構成（会員数約 70 万人）され、連合との連携のもと、退職者を結集する最大組織として「だれもが心豊かに安心して暮らせる社会の実現」に向けて諸取り組みを進めている。

基幹シニアとしても、引き続きその運動に参画していく。

- 基幹シニア会長・退職者連合兼任役員（事務局長）を中心に、基幹シニアの考え方をしっかりと反映し、運動に参画していく。
- 退職者連合中央における諸会議・行動には、基幹シニア役員を中心に基幹中央シニアクラブ・関東圏県本部シニアクラブの協力を得ながら対応していく。
- 各県本部シニアクラブは、可能な限り各地方連合の退職者組織との連携を深め、「だれもが心豊かに安心して暮らせる社会の実現」に向け、協働していく。

5. 政策制度・政策実現運動への取り組み

基幹シニアは、基幹労連の政策・制度要求を基本に置いて日本退職者連合の政策制度・政策実現運動に対応することとし、「年度要求」「春要求」の実現に向けた諸運動・行動に参加していくとともに、基幹労連中央・地方の政策実現運動にも積極的に連携していく。

- 日本退職者連合の政策要求策定にあたっては、基幹労連政策部局と情報交流を行なったうえで対処する。
- 日本退職者連合の政策要求については、ニュース等を通じて適宜県本部シニアクラブと認識共有をはかっていく。
- 基幹労連組織内議員「村田享子参議院議員」との意見交換も適宜行い、政策実現運動の前進に努めていく。

6. 各種選挙への取り組み

基幹労連が取り組む組織内議員候補予定者を基幹シニアとしても推薦・支援していく。2025年実施予定の参議院議員比例代表に向けては、基幹労連が推薦決定している「JAM 組織内議員候補予定者 郡山 りょう」氏を基幹シニアとしても推薦し、会員へ支援を要請していく取り組みを行う。

- その他の国政選挙、地方自治体首長選挙等への対応は、各県本部の退職者組織の実態に即しながら、基幹労連と連携した取り組みを進める。

7. シニアクラブニュースの発行

シニアクラブニュースを年6回程度の発行を予定し、情報の共有化に努める。

- シニアクラブニュースは基幹労連ホームページにも掲載する。
- 各県本部シニアクラブは、シニアクラブニュースを活用し、退職者組織役員やOBの方々に情報を伝えていく。

8. 財政の確立

今年度も独自会費の徴収を行わず、前期繰越金と基幹労連よりの助成金500万円によって運営する。

- 10周年を記念する行事関係費用は、予備費より対応する。

【参 考】(2022年10月3日第11回総会第1号議案付帯資料の再掲)

「基幹労連退職者の会」の組織名改称について ～ より多くの理解・協力者の賛同・参画をめざして ～

基幹労連シニアクラブは、2023年度活動計画において略称である「シニアクラブ」を正式名称とする改称を提案し、県本部退職者の会・構成組織にも同様名称への改称検討を提起している。以下にその検討素材を示す。

1. 問題の所在

組織の正式名称は「日本基幹産業労働組合連合会退職者の会」であり、略称をシニアクラブとしている。

そして会員の構成は、各県本部の退職者組織の会員、中央退職者の会員、役員会で加入を認めた組織または個人と規定しており、年齢は特定していない。中央退職者の会は、産別並びに総合諮問会議役員を退任した者を会員と認めており、50歳代の現役会員も実在している。

「退職者とは」についても特定しておらず、各構成組織の取り扱いにより会員となったものを産別シニアクラブの会員としており、定年退職した者、再雇用を終えた者、再就職していない者でなければならないという定めはない。

しかし、組織拡大取り組みを議論する際に、「退職していない」「再雇用中である」「再就職して雇用状態が続いている」といった状況を理由に入会を固辞されることや、定年延長により65歳までの対象者がいないといった声が寄せられている。働き続けていることにより入会できないとの受け止めを生んでいる感があり、「退職者の会」という表現がこうした状況につながっている面は否めない。

2. 会員になっていただきたい方のイメージ

基幹労連シニアクラブは、基幹労連の運動を理解し「高齢者が健康で安心して暮らせる社会の実現」という会の目的に賛同する方の力を結集して、「力の発揮」に繋げていくことを目指しており、現役のようにユニオンショップ的な縛りを追求するものではなく、思想信条の自由を束縛する組織でもない。

本部としては、こうした趣旨に賛同する方にできるだけ多く集っていただける為に必要な改革を模索しており、名前を連ねて頂くことで「目指すべき社会」の実現に向けた取り組みを支援していただきたいと考えている。

従って、現役時代に組合役員として基幹労連の運動を共にした方やその運動に賛同・協力していただいた組合員には是非とも加入していただき、活動を見守り後押ししていただける状態を創り上げていきたいと考えている。

3. 組織名改称の目指すもの

「高齢者が健康で安心して暮らせる社会の実現」というシニアクラブの目的は、退職された方だけの課題ではない。退職後、老後を考える上で現役終盤にはそれぞれが見つめな

ければならない課題と言える。こうした課題を共有化ができる方に加入していただき易いように、正式名称から限定感の強い「退職者の会」を除いて「シニアクラブ」というより幅広い表現に改称するとともに、加入要件についても入口を拡げる検討を求めることとした。

具体的な優先ターゲットは、県本部役員・構成組織執行部・職場役員といった労働運動の理解者・経験者と置きたい。こうした方々にシニアクラブに名を連ねて頂くタイミングを前広かつ柔軟に捉えていくためには、

例えば

- 職場復帰した県本部役員退任者に機をのがさず加入してもらえる取り扱いを検討する。
- 県本部構成組織の高齢（一般的には60歳以上）退任役員の加入が可能な取り扱いを検討する。
- 60歳を超えて出向・移籍等により就業企業を替えて働き続ける方が加入できる取り扱いを検討する。
- 県本部構成組織の退職者の会についても、現役終盤でも加入が可能なように入会要件の緩和を検討する。
- OB会組織を労使で構成している組合においても、別途「〇〇労組シニアクラブ」（仮称）の立ち上げを検討し、組合役員OB等運動に賛同する組合員の加入を促す。
- 退職前の組合員事前研修会において、シニアクラブを紹介し加入を要請する。

等々、退職を要件としない形の加入要件を検討し、組合役員経験者や組合運動に理解があり協力的な組合員の参画を高めていくことを目指すこととする。

4. 改称に向けたスケジュールイメージ

シニアクラブ本部としては、結成10周年となる2023年秋の総会での改称を目指すこととしたい。

県本部退職者の会についても、2023年秋から2024年に実施される総会における改称を目指すものとする。

第3号議案 2024年度予算（案）

（自2023年9月1日～至2024年8月31日）

（単位：円）

科 目	2023年度 決算	2024年度 予算	内訳
I 収入の部			
助成金	5,000,000	5,000,000	基幹労連助成金
会費	0	0	
雑収入	100	100	普通預金利息のみを見込む
繰越金	9,567,870	11,244,637	
収入の部合計	14,567,994	16,244,737	
II 支出の部			
総会費	0	2,400,000	
内部会議費	679,818	1,200,000	三役会議、幹事会、会計監査費用等
地方会議費	2,174,272	2,400,000	地方ブロック懇談会等
外部活動費	57,000	120,000	退職者連合行事対応等
団体会費	340,000	340,000	退職者連合会費
地方組織活動費	45,660	300,000	県本部シニアクラブオルグ等
組織対策費	26,607	200,000	政策実現運動の組織内外行動費等
予備費	0	9,284,737	*1
支出の部合計	3,323,357	16,244,737	
3 収支差額	11,244,637	0	

*1 10周年記念事業関係費用は予備費より対処する。

第4号議案 2024・2025 年度役員を選出

1. 役員候補（役職・50音順）

会 長	兼子昌一郎	（J F E スチール労連）
副会長	越野 隆義 澤田 和男 吉岡 正親	（住友重機械労連） （I H I 労連） （三菱マテリアル総連）
事務局長	操谷 孝一	（J F E スチール労連）
副事務局長	生坂 恭二 野口 隆信	（基幹労連中央執行委員） （基幹労連中央執行委員）
幹 事	入口 信茂 上野 達也 木村 暢之 木村 好伸 鈴木 幹雄 高橋 了 中里 良直 森岡 祥浩 吉沢 勇次 渡辺 強 和田口具視	（日本製鉄労連） （三菱マテリアル総連） （住友金属鉱山総連） （I H I 労連） （三井E & S労連） （川崎重工労組） （大同特殊鋼労組） （川崎重工労組） （三菱重工グループ労連） （I H I 労連） （J F E スチール労連）
会計監査	森山 謙一 渡邊 祐一郎	（不動テトラ労組） （基幹労連中央執行委員）
参 与	綱島 和彦	（基幹労連中央副執行委員長）
顧 問	神田 健一 神津里季生 宮園 哲郎	（日本製鉄労連） （日本製鉄労連） （日本製鉄労連）

2. 役員任期 2025 年開催の総会までとする。

参 考

2022・2023 年度 基幹労連シニアクラブ役員 (役職・50音順)

会 長	兼子昌一郎	(J F E スチール労連)
副会長	澤田 和男 吉岡 正親 和田口具視	(I H I 労連) (三菱マテリアル総連) (J F E スチール労連)
事務局長	操谷 孝一	(J F E スチール労連)
副事務局長	生坂 恭二 宇野澤 勤	(基幹労連中央執行委員) (基幹労連中央執行委員)
幹 事	上野 達也 木村 暢之 越野 隆義 鈴木 幹雄 高橋 了 瀧澤 健二 中里 良直 野村 昭典 吉沢 勇次 渡辺 強	(三菱マテリアル総連) (住友金属鉱山総連) (住友重機械労連) (三井E & S労連) (川崎重工労組) (J F E スチール労連) (大同特殊鋼労組) (東亜道路労組) (三菱重工グループ労連) (I H I 労連)
会計監査	入口 信茂 森山 謙一	(日本製鉄労連) (基幹労連中央執行委員)
参 与	綱島 和彦	(基幹労連中央副執行委員長)
顧 問	神津里季生 宮園 哲郎	(日本製鉄労連) (日本製鉄労連)

参考資料

県本部退職者組織実態調査(2022年)

No	本部	会の名称		代表者		事務局長	会の形態			
		会の正式名称 (組織名)	会の略称	呼称	代表者名	事務局長名 ※県本部兼務	① 県本部 役員 OB	② 単 組 役 員 OB	③ 組 織 内 議 員 団 会 議	④ 構 成 組 織 OB 会
0	中央	基幹労連中央退職者の会		代表	澤田 和男	※生坂 恭二		●		
1	北海道	基幹労連北海道本部退職者の会	北海道本部シニアクラブ	代表幹事	渡部 正寿	※西 良太	●	●	●	●
2	青森	基幹労連青森県本部退職者の会	青森県退職者の会	会長	久保田 政義	坂本 良造	●			
3	岩手	基幹労連岩手県本部退職者の会		会長	千葉 清則		●			
4	宮城	基幹労連宮城県本部退職者の会	基幹宮城退職者の会	会長	井上 千一	※池田 仁和	●			
5	秋田	基幹労連秋田県本部退職者の会		会長	成田 敏弘	熊谷 一男				●
6	山形	基幹労連山形県本部退職者の会		会長	伊藤 要助	未定				
7	福島	小名浜製錬退職者友の会	名友会	会長	緑川 利康	及川 順一				●
8	茨城	基幹労連茨城県本部「退職者の会」		会長	横山 潤一郎	柳井 忠明		●	●	
9	栃木	栃木県本部退職者の会		会長	瀬下 浩	堀越 義彦	●			
10	群馬	群馬県本部退職者の会	退職者の会	会長	今井一二三	木村 譲				●
11	埼玉	基幹労連埼玉県本部退職者の会	特になし	代表	金澤 精一	(菊地裕次)	●			
12	千葉	千葉県本部 退職者の会	退職者の会	会長	野村 康男	宮崎 直樹	●			
13	東京	東京都本部退職者の会		代表	筑井 久雄	野呂 修二				●
14	神奈川	神奈川県本部退職者連絡会	退職者連絡会	会長	鈴木 武男					●

No	本部	構成人数										県退職者連合への参加状況					
		①		②		③		④		① ④ 合計	登録済				検討		
		県 本部 役員 OB	う ち 女 性	単 組 役 員 OB	う ち 女 性	組 織 内 議 員 団 会 議	う ち 女 性	構 成 組 織 OB 会	う ち 女 性		組 織 総 数	登 録 の 有 無	登 録 人 数	三 役 派 遣 氏 名	三 役 派 遣 役 職 名	登 録 を 検 討 中	登 録 目 途 年 月
0	中央			110	0						110	×					
1	北海道	92	0	7	0	2	0	3	0	1	104	×					
2	青森	24									24	×					
3	岩手	18	0								18	×					
4	宮城	8									8	×					
5	秋田							148	1	2	148	×					
6	山形							50	0	1	50	×					
7	福島							128		1	128	○	128				
8	茨城			42		4					46	○	46				
9	栃木	7	0								7	×					
10	群馬							185		1	185	○	171	今井一二三	幹事		
11	埼玉	5	0								5	×					
12	千葉	40	0								40	×					
13	東京	10						870	0	4	880	×					
14	神奈川							4,525	59	10	4,525	○	4,525	鈴木 武男	会長		

県本部退職者組織実態調査(2022年)

No	本部	会の名称		代表者		事務局長	会の形態			
		会の正式名称(組織名)	会の略称	呼称	代表者名	事務局長名 ※県本部兼務	① 県本部 役員 OB	② 単 組 役 員 OB	③ 組 織 内 議 員 団 会 議	④ 構 成 組 織 OB 会
15	長野	日本基幹産業連合会 長野県本部退職者の会	長野県退職者の会	会長	須坂 文人	斉藤 今朝義	●			
16	新潟	基幹労連新潟県本部退職者の会		会長	小柳 均	近藤 強				●
17	富山	富山県本部退職者の会		会長	高藤 林蔵					●
18	岐阜	退職者連絡会		代表	末松 弘二	米倉 勝博				●
19	静岡	基幹労連静岡県本部退職者の会	シニアクラブ静岡	会長	稲 義行	江畑 栄二	●	●		
20	愛知	基幹労連愛知県本部 退職者の会		会長	小笠原 孝敬	※竹内隆織				●
21	三重	日本基幹産業労働組合連合会三重県本部退職者の会	基幹労連三重県本部退職者の会	代表	若林 美廣	青木 穂		●		
22	滋賀	基幹労連滋賀県本部退職者の会		会長	福本 薫		●			
23	京都	京都府本部退職者の会	退職者の会	会長	角谷 正司			●		
24	大阪	基幹労連大阪府本部退職者の会	基幹大阪退職者の会	会長	木下 豊和	※澤谷 誓之		●		
25	兵庫	基幹労連兵庫県本部 退職者の会		代表	松浦 典雄					●
26	和歌山	基幹労連和歌山県本部シニアクラブ	シニアクラブ	会長	高橋 義典	宮本 清司		●		
27	岡山	基幹労連岡山県本部 退職者の会	退職者の会	会長	石田 一		●			
28	広島	基幹労連広島県本部退職者連絡会	基幹労連退職者連絡会	会長	久保 精三	森田満雄				●
29	山口	基幹労連山口県本部 退職者連絡会		会長	長嶺 平治			●		
30	香川	川重労組坂出OB会		会長	三好 洋司	杉林 利夫				●
31	愛媛	基幹労連愛媛県本部退職者の会		会長	園部 誠	渡邊 勝利				●
32	福岡	基幹労連福岡県本部退職者の会		会長	福島 昭一	高田 幸一	●			
33	佐賀	基幹労連 佐賀県本部 退職者の会		会長	次村 泰典	吉田 隆男		●		
34	長崎	基幹労連 長崎県本部退職者の会	県本部退職者の会	会長	渡辺 敏勝	辻 公彦				●
35	熊本	基幹労連熊本県本部退職者の会		会長	濱岡 由光	池島 道春				●
36	大分	大分県本部退職者の会		代表	藤沢 達夫 戸高 佳到					●
37	鹿児島	JBU鹿児島県本部退職者の会		会長	内田 正文					●
							12	9	2	18

No	本部	構成人数								県退職者連合への参加状況						
		①		②		③		④		① ④ 合計	登録済				検討	
		県 本部 役員 OB	う ち 女 性	単 組 役 員 OB	う ち 女 性	組 織 内 議 員 団 会 議	う ち 女 性	構 成 組 織 OB 会	う ち 女 性		組 織 総 数	登 録 の 有 無	登 録 人 数	三 役 派 遣 氏 名	三 役 派 遣 役 職 名	登 録 を 検 討 中
15	長野	10							10	○	7					
16	新潟								395	○	395	眞田 守	事務局長			
17	富山								450	○	420	高藤 林蔵	事務局長			
18	岐阜								326	○	326	末松 弘二	幹事			
19	静岡	1	0	10	0				11	×						
20	愛知								2,649	○	3,962	小笠原孝敏	副会長			
21	三重			23	0				23	×						
22	滋賀	91							91	×						
23	京都			12	0				12	×						
24	大阪			104	0				104	○	104	副会長	木下豊和			
25	兵庫								9,412	○	人数登録なし	会長	松浦典雄			
26	和歌山			143	0				143	○	143	幹事	高橋義典			
27	岡山	23	0						23	×						
28	広島								5,506	○	5,506	副会長	久保精三			
29	山口			若干名					若干名	○	155					
30	香川								223	○	223	副会長	杉林利夫			
31	愛媛								366	○	422	構成人数との差についてはタイムラグ				
32	福岡	48							48	×						
33	佐賀			200	0				200	○	200					
34	長崎								1,980	○	1,980	副会長	渡辺 敏勝 久野 哲			
35	熊本								124	○	124					
36	大分								123	×						
37	鹿児島								24	×						
		377	0	651	0	6	0	27,487	1,318	47	28,521	18	18,837		0	0

No	本部	今後の組織拡大				シニアクラブニュースの発行				年間活動内容			
		取り組んでいる	※ 拡大対象	取り組んでいきたい	当面は現在のまま	役員に配信・配布	会員に配信・配布	会員へ配布	構成組織を通じて	配信していない	三役会開催数（年）	開催数（年）	幹事会・連絡会
0	中央					●				12	4	1	交流会は、東日本と西日本にて隔年で開催
1	北海道	●	単組役員OB			●	●					1	総会にあわせて、交流会を開催している
2	青森				●		●			0	0	0	
3	岩手				●	●				0	0	0	
4	宮城				●		●			1	1	1	
5	秋田	●				●						2	
6	山形				●				●	1	1	1	・山形県本部との意見交換会
7	福島			●		●				2	2	2	
8	茨城				●		●			2	2	2	
9	栃木				●			●		1	1		
10	群馬				●		●			2	6	2	
11	埼玉			●							3		
12	千葉	●				●	●			2	1	2	
13	東京			●					●		2	1	
14	神奈川	●	組合員の退職者				●			10	2	2	神奈川シニア連合への参画、毎月の会議、視察研修会などに取り組んでる。

No	本部	意見・要望	備考
0	中央		
1	北海道	特にありません。	既に単組OBを会員として運営している
2	青森		
3	岩手	会長が病院での事務長ということもあり、コロナ禍による制約により活動に苦慮している。	
4	宮城		
5	秋田		
6	山形	ご高齢の会員も多く、コロナ禍に入り全く活動を行っていない状況です。この間、副会長がご逝去され、会長・事務局長が身体的な理由で退任され、ようやく新会長・新副会長を決定しましたが、事務局長がまだ未定です。今年度中には一度会合を開き、新役員体制や次年度の活動計画等々の打ち合わせを考えています。又、会の人数については現在、ご逝去された方等を調査中の為、正確な数値ではございません。女性会員については、ここ最近で定年退職された方には定年退職式の時に説明のうえ入会届をお渡ししておりますが、現状申込がない状況です。	
7	福島	現在、福島県本部退職者の会は、小名浜製錬所労組のみとなっております。今後、県本部加盟組合にもOB会発足を促し、組織拡大を図りたい。	
8	茨城	【基幹労連茨城県本部「退職者の会」の名称について】茨城県本部としても名称変更に向けて三役会議、幹事会で事前説明を行い、本下次期総会で決定したい茨城県本部「退職者の会」総会で会員に確認頂き「シニアクラブ」に名称変更に向けて進めていきます。	
9	栃木		
10	群馬	年間の活動は、通常は上記の様に実施しているが、今年度はコロナ禍の為役員会を実施したのみである。 シニアクラブニュースは、会員に情報としてお知らせするものは、選択して会報に転載している。 ※2022年11月10日の五役会議で2023年1月1日付で新役員体制を確認（記載は新役員体制）	
11	埼玉	「シニアクラブ」（名称）への変更については、来期開催までに幹事会にて議論協議したいと思います。	組織拡大は、会長出身組織を視野に検討中
12	千葉		
13	東京		
14	神奈川	神奈川県本部の退職者連絡会は、労組のOBによる集まりであり、それぞれの構成組織OB会で年間行事を計画、実行しております。県本部退職者連絡会は、構成組織OB会がそれぞれの活動を報告し、共有することで自組織の活動にも活かす事が出来ていると思います。代表の方は組合役員経験がない方もいますが、集まりの中心的な役割、存在感をもって活動していると思います。また神奈川シニア連合の活動にも積極的に参画しており、神奈川シニア連合の中においても中心的な役割をこなしています。本部シニアクラブと県本部退職者連絡会とは活動の内容も違いがあると思いますが、その中で意見交換、共有化、連携強化していく活動は県本部退職者連絡会の活動も十分理解した上で取り組んでほしい。	

No	本部	今後の組織拡大			シニアクラブニュースの発行				年間活動内容			その他活動内容等
		取り組んでいる	※ 拡大対象	取り組んでいきたい	当面は現在のまま	役員に配信・配布	会員に配信・配布	構成組織を通じて	配信していない	三役会開催数（年）	開催数（年）	
15	長野			●				●	1	2	1	
16	新潟	●				●			2			基幹労連北陸ブロック退職者の会への参加
17	富山									1	1	
18	岐阜			●			●		1	1		
19	静岡			●		●			2		2	
20	愛知	●				●			1		1	
21	三重			●	●				0	1	2	
22	滋賀			●				●	1	1	1	
23	京都			●				●	1			
24	大阪	●	基幹大阪加盟組合					●	5	5		・総会時に研修を開催（直近3年は、コロナのため未実） ・大阪府本部独自でシニアクラブニュースを発行
25	兵庫	●	現在対象無し			●				2	1	・研修会
26	和歌山			●		●				4		・労福協チャリティコンペへの参加
27	岡山			●		●			1		1	
28	広島				●			●			2	
29	山口			●				●	1	1		
30	香川	●	三菱マテリアル直島			●					12	
31	愛媛			●	●			●		1		
32	福岡	●	県本部役員退任者					●	1	1		県本部の活動（新春政労使懇親会、納涼祭、政策実現集会等）への参加要請
33	佐賀				●	●			4	4	2	総会：年/1回 新春懇親会：年/1回 グラウンドゴルフ大会：年/2回 ゴルフ大会：年/2回 囲碁将棋大会：年/2回 旅行クラブ：年/1回 佐賀県退職者連合イベント参加：都度
34	長崎				●			●			1	
35	熊本				●	●			4	8	12	家族旅行、ゴルフ、ボウリング、山歩きなど
36	大分			●				●		12	5	会報の発行（年2回）
37	鹿児島				●			●				・コロナ禍で3年間活動ができていない
		10		7	19	14	12	5	7			

No	本部	意見・要望	備考
15	長野		
16	新潟		
17	富山		
18	岐阜		
19	静岡		
20	愛知		愛知県退職者連合に直接登録している組織あり
21	三重		
22	滋賀		
23	京都		
24	大阪		
25	兵庫		
26	和歌山		2022/12の総会にて組織名称を変更
27	岡山		
28	広島	11月2日（水）に退職者連絡会の幹事会を開催し、シニアクラブ総会の報告において名称変更の件について説明した際、ほかの名称はないかとの意見があった。	
29	山口		県退職者連合への登録については確認中
30	香川		香川県本部において退職者組織を有しているのは、坂出支部OB会しかなく、連合香川退職者の会(香退連)には、川重労組坂出OB会として参画している。 なお、香退連が発足以来坂出OB会は加盟している。
31	愛媛		
32	福岡		
33	佐賀		
34	長崎		
35	熊本		
36	大分		
37	鹿児島		